

中村進学会の細部紹介①

【校舎内部紹介/細部に徹底して拘ります】



① 印刷機 0-1

中村進学会の各校舎には印刷機が置いてあります。これは皆様へお届けする新聞折り込みの広告を校舎責任者が自分で印刷するためです。これは開校以来変わっておりません。そしてこれからも変えません。業者で印刷した広告も見た目は良いのかもしれませんが、ただ、先生がしっかりと文面も考え、字ばかりの広告ですが、気持ちがこもっている広告を追求しています。自分で印刷することで色々なことを考え、その印刷する時間が生徒への密な準備時間であったり、考える時間になっています。機械がするのではなく人間が気持を入れて行う。この志はこれからも変えません。実際は業者で印刷の方が安いですが、でも気持ちを届けたい。だからコストがかかってもこの姿勢を貫きます。我々は世界で一番良いと思う指導をしています。それを世界中の一人でも多くの子供たちに紹介したい。その思いで校舎も増やしております。ただ、この先 10 年 20 年増え続けても、創業以来の志は決して忘れず行っていきます。



② 講師紹介 0-2

校舎のパーティションに（保護者様が見える位置に）講師紹介を貼り付けてあります。「顔が見える塾」これを実行しております。休憩時間、生徒たちはその講師紹介を読みます。保護者様にも体験の待ち時間に読んで頂いております。いろんな個性を持った講師陣です。中村の講師には学生アルバイトの方も多くいます。社員という言葉より決して聞こえはよくない。ただ、実力はどうか。僕は断言できます。若い能力のある学生たちの力は無限大であると。中村では定期的に「授業会議」を行っています。（参加者はほとんど学生の皆さんです）自ら先生役、生徒役とな

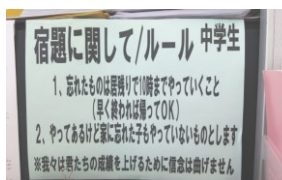
って、一人ずつ与えられた課題に対し授業を行う。そしてそれを見て学ぶ。これは強制ではありません。自らの意思で参加し、行っています。そこには自分が関わった生徒たちに少しでもわかりやすく、成績向上のためにはどう指導したらよいのか、この思いがあります。その結果、中村の社員は学生の時、中村で指導を経験したものがほとんどです。それだけ熱い環境があり、学生と云えど、夢中になれる環境があります。「講師の質」これだけはどこにも負けません。



③ 名言集 0-3

よく企業の経営者が座右の銘として好きな言葉を書物に書いています。今回の名言集はそれらをいろいろ集めたものです。校舎の入口に貼ってあります。いい言葉や正しいことというのは誰が見ても、どの世代の人が見ても共通するもので、子供たちにも知ってもらいたいものです。「成功の階段は上へ行くほどすいていく」「それをするのに最高の日は今日、最悪の日は明日」「天才は努力していないのではない、努力の跡を消しているのだ。」「壁にぶつかった人は幸せだ。壁までたどり着けない人が、大勢いるんだ。」etc どれか一つでも共感してもらえたら子供たちが少しずつ変わります。

それはこの名言集であるかもしれませんが。先生が発言する何気ない一言なのかもしれません。我々はどう考えます。「子供たちは先生と呼ばれる人のことを大人になっても覚えている、それだけ我々の発言、行動は子供たちに影響を与えている、だからそれに恥じない大人でいよう、責任を感じて指導しよう」と。講師控室には「自分が子供の時に来たかった…そう思える授業をしよう!そう思える塾であらう!」この貼紙があります。



④ 宿題のルール 0-4

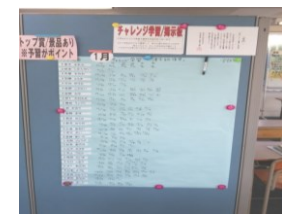
「やってきたけど家においできた」子供たちがよく使う言い訳です。それは認めません。中村では、やってきたけど置いてきたと言うより、潔く「忘れました、居残りしてやります」こう言える人間になろう! こう伝えています。宿題の定着には①徹底した管理②宿題の本質を理解する、この 2 点だと考えます。管理に関しては我々の曲がらない姿勢が浸透していくことで、しっかりと「やらなければならない」これが伝わります。ただ、それでもやってこない子もいます。それはなぜ

宿題をするのかかわからないからです。時間をかけて勉強をする意味にまで言及して話していく必要があります。将来の自分、恥ずかしくない大人へ、競争社会の在り方、などなど子供が納得する理由を見つけるまで試行錯誤して先生が話すということで解決を目指す。1 回言ってダメなら 2 回、それでもダメなら 3 回 4 回…こちらが曲がらなければいつか子供たちはわかってくれます。それは宿題のみならず、中村の指導、あらゆることにあてはまる姿勢です。

今回、中村進学会の細部を紹介させて頂きました。これだけ細かく子供たちの事を考え、より良い指導を追及している塾はないと自負しております。学習塾とはどうあるべきか、最高の指導法とは何か、日々追求を欠かしません。その一端でも感じ取って頂けたらと思います。

【小学部/少人数個別指導】

中村自慢の切り札



⑤ 小学生チャレンジ学習発表 1-1

左記の物は「漢字総復習」と題し、1 年間の新出漢字を毎回 3 0 問ずつチャレンジ学習でテストした物です。その結果を B 紙に記入、教室に掲示します。成績上位の子には景品もあり、それを目指し「予習」をしてくる子が多いです。実はここが狙い目なのです。テストの範囲は現在使用している塾の国語ワークの漢字テストの所です、それを予め伝え、テスト勉強も O K というようにしてありますので

自宅で予習→塾で確認テストという効率的な学習ができております。その他、調べ学習も定期的に取り入れ、都道府県別に特色を調べてきたり、新聞の切り抜きを持参しそれに対する意見を発表したりする月もあります。「自主勉ノート」では毎日 1 ページ、どんな科目でもいいので自宅で勉強をする→先生がコメントを入れて返却、その中に効率的な勉強の仕方、家庭学習の重要性、中学につながる「テスト勉強のあり方」これを学んでもらっています。チャレンジ学習の月が終わっても継続してノートを提出して、既に 10 冊を超える子もいます。それを身に付ければ、中学での定期テスト勉強は容易に感じるはずで。1 対 1 の個別では刺激されるこの状況は味わえません。

⑥ 小学生「チャレンジ学習」推移 1-2



小学生は毎回 1 0 分、チャレンジ学習を行っています。その題名を当初より校舎の一番上の壁に貼り出しております。まずは校舎を 1 周するのが目標です。ぜひ実際の貼りだしてあるものを見て頂きたいです。コンセプトは「恥ずかしくない大人へ」これを意識し、大人になって困らない一般常識、頭の体操的なものも含まれ、これを楽しみに塾へ通っている小学生も多くいます。

⑦ 小学生チャレンジ学習…毎月の題名紹介 1-3



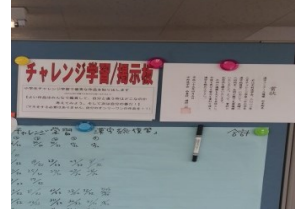
毎月行っている実際のチャレンジ学習を紹介します。この他にも「I Q サブリ」「履歴書」「タングラム」「百人一首暗記」「三大〇〇」「世界の偉人」「歴史上人物 51 人」「中村総理大臣選挙」「作文王」「不思議発見」「早口言葉」「文学史の暗唱」などなど、どれも校舎責任者が毎月子供たちのために楽しく、集中できる題材を考え、行っております。大人がやっても十分楽しめる、しかも学べる。こんな時間が中村にはあります。

⑧ 100 点景品 1-4



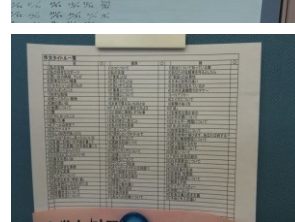
学校のテストで 100 点を取ってきた子には写真のような景品が一つもらえます。（市販の表 100 点裏 50 点のテストは 150 点満点）小学生の子たちはこの景品を目当てにがんばっています。子供たちには 100 点を取ることを喜びを感じてもらい、そして我々は誉めてあげてを欠かしません。一度誉められると大人でもそうなのですが、次も取ってやる! という好循環が生まれます。我々はお金を頂いて成績という結果を残すために仕事をしている。そのために多少の「アメ」を有効的に使い、バリューを出していくことも必要だと思っています。

⑨ チャレンジ学習、賞状 1-5



右上、小学生チャレンジ学習の賞状です。漢字総復習で一番だった子、自主勉ノートで一番多くやってきた子、調べ学習で細かく調べてきた子、頑張った子には賞状を渡します。大人は仕事で結果を残せば報酬で報いを受けます。子供たちにも頑張った子には必要です。それはお金でなくても、努力をし頑張った結果を残せば評価を受けるということをわかってもらうためです。

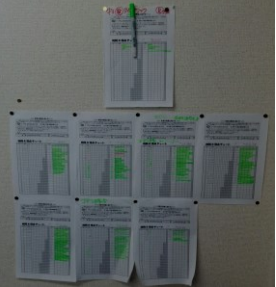
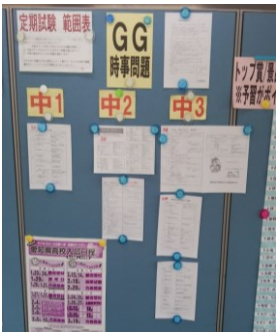
⑩ 作文タイトル 1-6



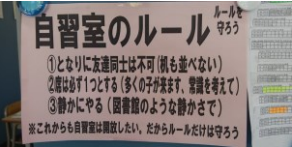
中村の 10 分作文、これは各期講習で小学生が取り入れております。もちろん、要望がありましたら通常の指導時間の中でも作文を毎回書いている子達もいます。今回その表題を紹介しました。「習うより慣れる」とよく言いますが、作文が苦手な子はまずなかなか先に進めません。最初は先生がヒントを出していきます。書いていく段落ごとのヒントです。ここは 3 行でこういう事を書いてみよう、次はこんな事を書いてみよう。何回も何回も書いていくことで慣れてきます。自然と書く内容が頭に浮かぶようになります。とにかく数をこなす、そのために表題をたくさん用意してあります。

まだまだ伝えたいことが多くあります。裏面では中学生の中村でしかできないことを載せております。中村の合言葉「恥ずかしくない大人へ」これを追及するために、正しいと思うことを妥協せず、こと細かくやっていくこと。これが成績へとつながっております。現在 15 校舎/生徒数約 1,000 名/講師数約 100 名。フランチャイズ店は 1 店もありません。全店直営です。ですから全店舗同じサービスを提供するために日々話し合いを行い、いい店舗のいい所を他の店舗がどんどん吸収して、よりよく常に発展しております。そんな校舎をぜひ一人でも多くの子供たちに味わって頂きたいと思っております。なぜ中村が支持されているかは、校舎責任者を見れば一目瞭然。昭和の中村をぜひ味わってください! ヤバいですよ。

【中学部/個別プラス全体指導プラス 30 分暗記】



くことがより近道です。逆算していくのです。〇〇高校へ行く→実力・内申が△△ある。→今の内申と照らし合わせ、この科目とこの科目を上げる→次のテストでこの科目を 80 点とる→今回のテストで次にどうすれば 20 点アップさせられるか→この問題とこの問題を確実に解けるようにする、確実に暗記する。→ではいつ、どのくらいの時間をかけてやっていくのか。ここまで考えていきます。これも大人社会と同じです。必ず何かに向かって仕事をしているはず。その結果を出すために手段や方法を考えていく。大人は誰でも行っています。それをテスト勉強で養ってもらうための戦略です。



⑪ テスト範囲表及び時事問題 2-1

テスト週間に入ったらその範囲表をすぐに持参。先生は細かくチェックし、塾のワークのページ数などを書き込みます。それによって、**過去問の選別、予想問題などを考え、より効率的に点が取れるように指導**していきます。時事問題に関しては、当社講師、社会科スペシャリスト、熊澤によって毎月、世の中の注目ニュースをピックアップして校舎に貼り出してあります。学校によっては定期テストに時事問題が数問出され、それを読んで得点をするという子たちも多くいます。継続してタイムリーな情報を的確に届けることを実践しております。

⑫ 土曜テスト結果 2-2

中3生は「土曜講習」と題し、毎年10月より、午前9時～13時（4時間）、毎週入試終了まで公立入試問題を徹底して自分で解いていく講習を行っております。月末には「定例テスト」として全校舎一斉に中村オリジナル試験を実施。毎回得点、順位を名前入りで発表し、貼りだします。それをモチベーションとして日々切磋琢磨している子が多数います。今年も200名近隣の生徒が土曜講習に参加し、それぞれの志望校に向け必死になっております。公立入試の問題は全員同じです。ですから全員が同じ問題を解いていく、そしてその中から**自分が確実に解ける問題、努力すれば解ける問題、これは厳しいと感じる問題、自分で把握して確実に正答率を増やす対策**を行っております。先日生徒から「模試の結果が思っていたよりできていなかった、次の土曜講習テストで挽回する！」こう言ってみる事リベンジをした子がいました。このようなモチベーションにもなっています。テスト結果を張り出され、悔しい思いや恥ずかしい思いをするのは自己責任です。その悔しさを糧にして欲しい！こんな思いも含まれています。大人の社会ではよりリアルな数字にさらされ、それに打ち勝っていく実力を身につけなければ、今後益々進行する競争社会に生き残ってはいけません。その予行演習を中村では行っているのです。

⑬ タイムアタック(中3) 2-3

中学生は「ラストテスト」を毎回実施しております。それはその日の指導のまとめであったり、以前学習した確認テストにもなります。中3生は受験を意識し、金曜日のラストテストは数学の公立入試の確実に取っておくべき4問（過去問）を素早く確実に正答するための「タイムアタック」を実施。ストップウォッチで毎回時間を計り、その時間と得点を記入する表が写真のものです。毎週毎週重ねることで、その4問は確実にしかも早く解くことができます。試験は時間が必ずついてきます。反復練習こそが普段の実力を本番で出すための道です。勉強もスポーツも根本は同じ、努力、練習こそが自分の力となります。

⑭ 黒板の記載 2-4

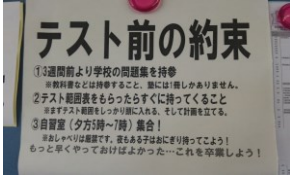
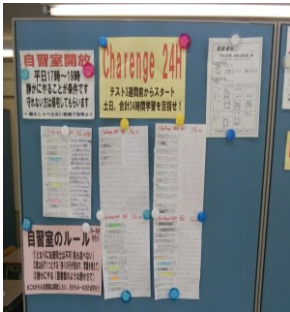
ぜひ、中村の黒板を見ていただきたい。左上に連絡事項、テスト前の対策授業の連絡、自習室の連絡、右上には「前回宿題」「今回宿題」「居残り」のマグネットシールがあります。生徒が来る前に宿題は黒板に記入してあり、それを生徒はメモする。だから忘れにくくなる。先生は生徒が来たら宿題のチェックをする、そして忘れてきたり、理解不足の子は「居残り」欄に名前が記載されます。黒板上段には「30分暗記」の覚える事項が記載してあります。英語のunit7-①②単語、歴史ワークp35、理科一問一答プリント①～⑩、年末年始単語プリント100～130、こんな記載がしてあります。生徒は宿題を机の上に置き、黒板を見て暗記スタート。このような流れですので、生徒は黙々と覚えていきます。この暗記時間、誰もしゃべりません。先生の話す声さえも厳禁です。それほど集中して「覚える」ということを塾内で行っているのは中村進学会だけだと思います。これが家庭でなかなかできないことです。

⑮ テスト目標 2-5

中村では中学生全員に各期テストの目標をテストが終わった時に1時間かけて書いてもらっています。それは結果を見て、考え、次に生かすためには結果が出てすぐに書くことが効果的だからです。もちろんこれも校舎の壁に貼り付けています。その写真です。大切なのはより細部に渡って書いていくことです。結果から方法や手段を決めてい

⑯ 自習室のルール 2-6

中村進学会は自習室を開放しています。テスト前になると、席が足りなくなるほど活況です。平日の17時～19時までの間、教室を開放しています。中3生などは部活動が終わり、なかなか自宅では誘惑が多く、塾でしっかりやろうという子が多いです。中1、2年の子たちも自分が通塾する曜日に部活動が早く終わる冬の時期に、1時間早く



広告でも大きく取り上げており、それをするために、1回目はノートへやる、提出に不安がある子は1回目通常書き込み、2回目以降チェックシートを用いて反復練習をする方法を伝えています。それもなかなかできない子には、ワークそのものを予めコピーをして渡している子もいます。何種類ものワークを用意して解くのではなく、まずは1冊完璧にしていこう、そのページごと丸暗記してしまおう、こんな声掛けをしています。テスト直前土曜日、無料テスト対策も実施しております。部活もありませんので3時間しっかり各学校の過去問指導、テスト直前質問タイムを設け、全員が団結してテストモードへ入ります。

【中村の本物の指導を体験!!】テスト対策・自習室も体験可

---小・中・高校生ともに通常指導の無料体験学習を受付中。お気軽にお問い合わせを！---

①体験日時の選定

お電話にてご都合の良い日時を申し付け下さい。回数は定めておりません。納得いくまで体験できます。※中学生は学年曜日指定です。

②実際の授業体験

現塾生と同じ時間体験していただきます。存分にご審査ください。

③体験後の面談

体験での様子、アドバイスを保護者様と共にさせていただきます。

④通常指導スタート

納得頂いた方のみ、入塾して頂きます。「講師の質」中村、ここを自負しております。ぜひご検討下さい。月の途中からでも入塾可能です。

中村の中学受験生指導も必見！個別プラス全体指導で合格必須！毎年多くの合格者輩出!!

難関の私・国立中学受験にも対応しております。指導曜日など各校舎へ問い合わせ下さい。途中入塾でも対応致します。それぞれの第一志望へ!!

犬山校：犬山市中山町 1-40

(0568) 65-0096

稲沢校：稲沢市正明寺 1-2-22

(0587) 32-2368

津島校：津島市柳原町 2-58-1

(0567) 23-7889

大治校：大治町西篠大門先 8-1

(052) 443-0677

清須校：清須市清洲 2581-2

(052) 409-6266

一宮校：一宮市住吉 1-8-4

(0586) 47-6887

西春校：北名古屋市長田流 47-1

(0568) 25-5224

小牧校：小牧市中央 3-106

(0568) 71-4044

はとり校：中川区服部 3-404

(052) 462-9855

江南校：江南市宮後町砂場東 260

(0587) 81-8084

高畑校：中川区中郷 3-105

(052) 355-7995

江南校：江南市宮後町砂場東 260

(0587) 81-8084

春日井校：春日井市鳥居松町 1-70-1

(0568) 41-9966

小田井・平田校：西区上小田井 2-221

(052) 325-6117

守山校：守山区鳥神町 109 番地

(052) 768-6997

甚目寺校：あま市甚目寺大淵 60 番地

(052) 446-6644

愛知県下 15 店舗/生徒数 1,000 名/講師 100 名在籍/昭和の中村必見



「恥ずかしくない大人へ」をスローガンに、納得の低価格で尾張地区15校舎【守山・甚目寺・江南・小牧・西春・犬山・稲沢・清須・大治・津島・一宮・はとり・高畑・春日井・小田井】地域密着型の指導を行っております。無料体験指導、随時受付けております